

Ⅱ 本年度学校教育の努力点とその推進計画

1 主題 「自律して学び続ける表山っ子」

～探究型学習を通して～

2 主題設定の理由

昨年度の学校教育努力点は「自ら学びを見つける表山っ子」として主題を設定した。本校児童の実態を鑑み、児童が「主体的に学ぶ」ことができる学習環境を整えられるような授業実践を行った。「名古屋市学校教育の努力目標及び重点項目について」では、主体的・対話的で深い学びを実現するために、一人ひとりに応じた個別最適な学びを活用して充実を図るとしている。まずは、研究の主題初年度ということもあり、「主体的で個別最適な学び」について校内及び校外の研修や授業参観を通して全職員で学び、どのような手立てが考えられるかに焦点化し、各学年で研究を進めてきた。各学年が、その学年の目指す児童像に近付けることができるように、個別最適な学びとして様々な教科で手立てを講じたことで、児童が主体的に学習に向かうことができた。各学年の実践では、児童が学習方法を選択できるようにしたり、自分のペースやレベルにあった課題に取り組んだりするなど、学習環境を工夫したことで、児童が自ら学びに向かう姿が見られた。

しかし、実践を進める中で、自分の課題克服や自身の成長に向けた学習を選択することに向き合えていない児童も多く見られた。個別最適な学びを通して、児童一人ひとりが自分の課題と向き合い、成長するために何が必要なのか、どのような学びが有効なのかを考えられるような実践を行う必要があると考える。

そこで今年度は、「自律して学び続ける表山っ子」を主題に設定した。自分の課題を見つめ、自身が成長することができる授業実践を行っていくようにしたい。名古屋市の学びのコンパスや御幸山中学校ブロック共通理解事項では「自律して学び続ける」ことを学校教育努力点のテーマに各学校で取り組むと示されている。児童が自律して学び「主体的で個別最適な学び」が最大限に生かされる実践を学校全体で取り組んでいきたい。

主題に迫るための学習活動として、本年度は1年間を通して自分の設定した課題に向き合う手立てを考えたい。生活科、総合的な学習の時間等の学習を通して、自分の設定した課題に対して自ら学習方法を選択し、学習を深めていくような探究型の学習に取り組むようにしたい。

3 研究の方法

(1) 実践の進め方

- 本年度は、学年で実践するテーマを決めて、週1日朝の帯の15分を探究の時間としてあてる。1学期にテーマ設定などを行い、2学期では調べ学習や探究学習、発表の準備などに取り組む。
- 実践は、1・2年生では「生活科」、3年生以上は「総合的な学習の時間」で内容を調整し、実践に取り組む。
- 学習の成果として、3学期には発表等を行う。発表の形は、新聞発表、プレゼン発表などとする。個人での発表やグループ発表など発表の形は各学年の実態に応じて考慮する。